

第1回浜田市男女共同参画推進委員会 会議録

会議名	第1回浜田市男女共同参画推進委員会
開催日時	令和6年12月9日(月) 13:30~15:30
開催場所	浜田市役所本庁舎4階講堂AB
会議の担当	地域政策部 人権同和教育啓発センター
議 題	1 浜田市男女共同参画推進計画(第4次)年次報告について 2 その他
内容及び 決定事項	各議題の質疑応答と意見交換

【出席者】

■委員

福濱会長、高橋副会長、植田委員、中村委員、建井委員、栗栖委員、馬場委員、

■事務局

田中地域政策部長、濱見所長、小寺係長、山本主任主事
久保健康福祉部長、龍河子ども・子育て支援課長

■傍聴者

会場、Webとも申込者無し

1 令和6年度浜田市男女共同参画推進計画年次報告について

【質疑応答・意見交換】

基本目標Ⅰ 「男女の尊厳の確立と誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり」

重点目標Ⅰ 「男女間における暴力の根絶」について

○福濱会長

DV相談件数の推移や実際の被害の認知件数について、行政はどこまで認知しているのか。

●事務局

相談件数が減少するという事は、良いことなのかもしれないが、相談に至っていない事実はあると思っている。被害に遭われた方が相談したいと思った時に、どこに相談すればよいのか分かるような啓発は今後も引き続きしていきたい。また、若いころからということで重点的に中学生に啓発しているが、その頃からこういった認識を持ってもらうように啓発は続けていきたい。

○福濱会長

今後は相談窓口として、女性、子ども等に関する窓口の認識があるかを調査していく必要があると思う。

○高橋副会長

相談員とあるが、市役所に専門の相談員はいるのか。研修に参加とあるが、市役所に専門の相談窓口があるのか。それとも、課で受けて児童相談所や警察などに案内するのか。

●事務局

子ども・子育て支援課に子ども家庭相談係があり、そこには児童虐待・DVなどの相談窓口がある。その係の職員は専門研修を受けている。ただ職員の異動があるので、その職員が継続してということではないが、機会があれば研修を受け、そういった知識を高めているところである。ケースによっては児童相談所に直接相談される方もおられる。県が受けたが、市に繋げたほうが色々な支援を受けられるので望ましいということになると、こちらに紹介されるし、市が受けたが、警察などに繋げたほうが良いということになると、県へ紹介するなど、ケースバイケースである。それぞれ、連携してやっているところである。

○中村委員

DV相談件数が13件とあるが、学校の養護教員へ相談する場合もあるかと思うが、この件数は、市の窓口にあった件数という認識で良いか。

●事務局

市が受けた相談件数が13件である。

○中村委員

この中に児童や学生はいないのか。

●事務局

児童虐待の相談はあるが、この計画とは別の相談になる。夫婦間の暴力に関する件数である。

○建井委員

2点質問がある。1点目に、自治体が小さくなればなるほど相談しにくいということがある。それは、身近に接している人には相談しにくいということである。何か、相談しやすくなるような工夫はしてあるのか。2点目に、男女間の暴力というのは女性への暴力が多いと思うが男性への暴力というものもあるのか。

●事務局

1点目について、相談内容はなかなか相談しにくいような内容であるので、人口が少ないと各家庭の状況が分かるような状態なので、余計に相談しにくいと思われるが、カウンターでの相談は受けないようにして、個室対応、限られた職員のみで共有など、情報の管理には十分気を遣っている。関係者がどこにいるか分からない、どこから情報を得られるか分からないというプライバシーの保護には最大限配慮している。

2点目について、男性からの相談はどこに相談して良いか分からないということで、他課へ相談され当課へつなげたケースがある。

重点目標2 「生涯を通じた男女の健康づくりの推進」について

○福濱会長

生涯の健康に関しては、予防の観点から健康診断の受診率はどうなのか。それが男女間でどうなのか。これについての数値はあるか。

●事務局

今、情報は持っていないので、健康医療対策課に確認し、後日回答する。

○福濱会長

健康診断となると意識の問題となる。健康診断の受診は意識を持たないといけないが、諸々の状況で受診しないのか、そうであれば受診できるように是正していかないといけない等、どこかで受診しない理由について把握が必要となる。

重点目標3 「誰もが安心して暮らせる環境づくりの推進」について

○高橋副会長

同和問題について、現在もあるのか。最近は性の多様性に関する差別をよく耳にし、身近ではあまり聞かなくなったので、未だ根強く残っているのかどうか。

●事務局

一般的には、同和対策事業で、行政が後回しにしてきた側溝の整備など環境整備に力を入れて行った。一旦はそれで落ち着いたように見られがちだが、実際にはインターネット上でのひどい書き込みや場所を特定する書き込み等が大きくなっている。学校においては、過去にあった差別について教えている。すべての人権課題の根底にあるものとして学校では継続して同和教育を進めている。歴史、現在の状況、解決するにはどうすれば良いかなど、小中高において行っている。同和問題について聞くことは少なくなってきてはいるが、正しく今までの歴史を

学ぶことによって、いざ問題に直面した時、誤った判断にならないようにという教育だと思っている。

○福濱会長

新たな環境として、SNSなど見えないところでのいじめや差別などが行われている。各部署、機関が連携して対応する必要がある。

○委員

人権の勉強について自分自身は同和問題を授業で学んだ。自分の子どもも学んでいるが、今の子ども達はまだよく分かっていないような気がする。同和問題についてもだが、プラスで今ある身近な問題、いじめやジェンダー等についても、子どもだけではなく、親も一緒に教育し、学ぶという環境を作る必要があると思う。そうでなければ、繋がりが見えないと思う。

重点目標4 「防災分野における男女共同参画の推進」について

○高橋副会長

現在、浜田女性ネットワークでは、重点的に男女共同参画の視点の防災に力を入れて啓発活動を進めている。「男女共同参画」というテーマを全面に持ってくると、集客は難しいところがあるが、「防災」というと皆さん危機感があり、各まちづくりセンターでも防災関連の研修はやっておられると思う。その防災研修の中に少しだけ、男女共同参画のエッセンスを入れてもらうだけで良いと思う。防災出前講座100回のうち30回程度は男女共同参画の視点の講座を行っているとのことだったが、100回のうち100回その視点で講座を行って良いと感じる。講座全部をその視点のものにしなくても、講座の中の1部分にこういうことが男女共同参画の視点なのだというを入れてもらうと良い。例えば、避難所運営の運営委員長は男性だけではなく、女性も入れる。これは、生理用品の受け取りなど男性には伝えにくいことや、女性の問題に関しては、経験上、女性は気づくが男性は気づきにくいことがある。炊き出しも、炊事は女性となりがちだが、量的に力仕事になる部分もある。そういったことから、男性だけではなく、男性女性一緒にやっっていこうなど、そういう男女共同参画の視点を一つ二つ入れた研修を100回中100回、是非行ってほしい。併せて、せっかくなので、まちづくりセンター職員の研修にも、男女共同参画の視点の防災研修を入れてほしい。避難場所がまちづくりセンターになる場合が多いので、センターの職員の方にも、そういった認識を持ってもらうためにも、実施してほしい。その中で、女性ネットワークや、男女共同参画研究会も一緒になってやっていきたいと思うので、是非お願いしたい。

○中村委員

午前中に防災研修を行った。明治安田生命さんの研修で分かりやすかった。地域の皆さんも喜ばれたのではないかなと思う。女性ネットワーク主催の研修も参加したかったが、所用により参加できなかった。またまちづくりセンターの方でも、研修の実施等をしてみたいと思っているので、アドバイスいただけたらと思う。

○福濱会長

防災は経験、体験が重要となる。浜田でも、58 災や水害、浜田地震があった。今度、気仙沼

で災害セミナーに参加する。風化させないということと、炊き出しなど日頃から何か経験することが大事だと思っている。話を聞くという研修も大事であるが、実際に、避難所運営を想定してそこに関わる経験をしてみると、こういう時はどうしたらよいか等、問題点も分かってくると思うので、お手間かもしれないが、経験してみる。当時被災した時の職員ももうほとんどいないと思う。次代に引き継ぐためにも大事だと思っている。その中でコミュニティも生まれてくるかもしれない。是非、検討してほしい。若しくはモデル地域としてやってみようとする地域を支援する等お願いしたい。

基本目標Ⅱ 「誰もがあらゆる分野で活躍できる環境づくり」

重点目標 1 「政策や方針決定における男女共同参画の推進」について

○福濱会長

自分の職場でも女性の役職者の人数は少ない。女性が少ない中で委員に女性をとなると、一人に役職が固まることもある。女性枠を広げるなどしないと今までの中で女性就任となると難しいところもあるかと思うので、女性就任に尽力してもらいたい。

●事務局

要綱の改正については、他市で事例がある。例えば、松江市など女性割合が40%を下回らないこと（40%下回る場合は事前協議を行う）等、（審議会として女性割合の目標値達成に努めるように）徹底している。浜田市はそこまでしないと、例えば充て職としていたところを、会の代表としてどなたかに就任してもらうというように各審議会で要綱を変えてもらうなど、そういうことからなら始めることができると思っている。

重点目標 2 「女性の職域拡大と管理職等への登用」について

○福濱会長

島根県では色々な施策を打ってもらっている。県と市が情報共有をし、できるところは連携していくことが必要である。全国でも島根県は施策等が進んでいるほうだと思う。また、我々が今から取り組もうとする各企業向けのセミナーで「HR プログラム＝ヒューマン・リソース」がある。人材として総合的にどう対応するかということであり、採用、開発、育成、評価、マネジメントという形であり、労働力や女性活躍に繋がる。地域で頑張っておられる女性の方々に講師になってもらい、その女性がいる企業の男性リーダーもパネルディスカッションするという具体的なセミナーとしては、面白いのではないかと感じている。一度やってみるので、良ければお勧めしたい。

○高橋副会長

去年から浜女性ネットワークでは、企業訪問をしている。島根県の「女性の活躍応援企業」を受賞された企業で、去年はイワミケーブルビジョンさん、今年吉原木工さんを視察させて

いただいた。女性が働きやすい環境や、どういうところを改善して女性が多く働いておられるのかといったところを見聞きました。吉原木工さんは若い女性がIターンできておられた。浜田には働く場がない、若い女性がいけないということを知ることが、魅力なる企業には自分からIターンで来られて、生き活きと働いておられた。浜田の他の企業においても、どうしたら女性や、女性だけでなく男性も生き活きと働いてくれるのかと思うので、是非、セミナーに男女共同参画の視点を入れていただきたいと思う。私たちも、(視察で知りえた情報等を) どうしたら発信できるかという課題を持っている。商工会議所等にご協力いただきたいと思っている。

重点目標3 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進」について

○福濱会長

情報として、実際に子育て支援を企業も一緒に行うことで業務・業績が上がるという情報提供が必要である。身近では、浜田市の名誉市民である小松氏が、地方と東京本社の管理職の女性の子どもの人数にひらきがある。地方のほうが働きやすい、子育てしやすいといった生の情報もあるので、せっかく身近にそういった企業があるので、情報として提供するということができると思う。

重点目標4 「地域社会や地域産業における男女共同参画の促進」について

○建井委員

「起業等支援事業補助金」について、活用実績がなかったということだが、どのように広報したのか。

●事務局

どのように、広報したのかは担当課に確認する。ただ、必要な人に情報が届いているのかは疑問に思っているところもある。浜田市のホームページには掲載してあると思うが、チラシを配布しているのではないかと思う。活用実績がないことから、積極的には行われていないのではないかと推測する。また、同種補助金があるため、制度の見直しも検討するとある。今後の動向については確認して情報提供する。

○建井委員

同種の補助金があるとのことだが、対象が女性だけなのか、男女問わずなのか。

○植田委員

その補助金については分かる。県と併せての「地域商業活性化事業」は、上限が200万円で、創業の相談会の中ではまずその補助金の方を勧める。その補助金を使い他に使う補助金がないといった場合に案内する。実際には、上限200万円のほうがメリットがあるということで、この補助金を中心にまずは勧めていくということがある。浜田市のホームページを見て「起業等支援事業補助金」について問い合わせがあるが、県の補助金を案内し、こちらの補助金のほうが(ご希望に添えるのでは)ということ、シフトされる方もおられる。この補助金は、男性女性関わらず(対象)である。どちらも併用がきかない補助金である。

●田中部長

周知については単純にホームページに掲載しているだけではなく、女性対象のものであるので、起業セミナー等で起業の終盤のところ、こういった補助金もあると周知は図っていると思う。ただ、なかなか実績が出にくいものである、こちらの方については検討が必要かと思う。

基本目標Ⅲ 「男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり」

重点目標Ⅰ 「男女共同参画社会に向けた慣行の見直しと意識改革の推進」について

○福濱会長

広報に関して、市のホームページでもあげているが、「輝く女性の活躍を応援する男性リーダーの会」に市長が賛同しているので、浜田市が表明したということを知ると、浜田市としてやっていくのだという大きな取組だと思ったということと、ホームページに具体的な活動という項目があるのに、浜田市は折角良い計画を作っているのに、計画がリンクしていないので、あげておけば良いのと思った。

●事務局

男性リーダーについては（重点目標2で）内容を伝えなかったが、市の女性職員の配置に関して、男性リーダーの会において市長自らの考えを述べ発信しているということは年次報告で示している。

○福濱会長

具体的などころで、市職員への対応が（計画に）示して取組をしてある。折角取組をしているのに出しておかないともったいないと思ったということと、他市と比べても立派な計画書なので、その意味でもリンクをしてみてもと思う。

重点目標2 男女共同参画に関する学校教育・社会教育の推進

○委員

特になし

全般的な質問について

○委員

特になし

2 その他

【質疑応答・意見交換】

令和6年度事業について

○委員

特になし

●事務局

沢山の宿題をいただいた。この場でお答えできなかったことについては、改めて議事録等で回答させていただく。会議録は、浜田市のホームページに掲載する。